

12月12日からの約1カ月間の休暇が明け、1月19日から春学期が始まりました。天候は、12月に比べると一段と寒くなり、キャンパスは雪一面で覆われています。



今回は、1月31日現在までに経験したことを報告致します。

春学期の授業

UIUCの春学期授業開始から、約2週間が経過しました。以下に現在履修している科目を記します。

- BIOC 406 Gene Expression
- FSHN 471 Food & Industrial Microbiology
- IB 404 Comp Genomics of Eukaryotes
- MCB 150 Molec & Cellular Basis of Life

今学期は、私の専門科目である「生物」に関わる授業を履修することにしました。UIUCには、これに関する授業が多くあり、選択する際に迷いましたが、私の研究テーマに関わる「遺伝子工学、分子生物学」の授業を履修することにしました。

以下にそれぞれの授業の内容について示します。

BIOC406は、「遺伝子」の授業です。この科目は、本学の「遺伝子工学、細胞工学」を組み合わせたような授業です。この科目の中で、遺伝子の原理についてより深い知識を身につけたいと考えています。授業と履修人数はおよそ40人程度で、教授がパワーポイントを用いて行う講義形式の授業です。時間割は、3コマ/週です。分からないことがある学生は、教授が話している最中でも積極的に挙手をして、質問をしています。現在まで、遺伝子の発現に関する基本的な工程について学んでいますが、大変専門性の高い授業で、予習や復習を欠かさず行っています。

FSHN 471は、食品の観点から「微生物学」を学ぶ授業です。したがって、将来調理師や栄養士を目指す学生が履修していると考えられます。私は、研究の中で「微生物」を使用していることと、かねてから微生物に強い興味があったことからこの科目を履修しました。この科目も**BIOC406**と同様に約40人程度の学生が、パワーポイントを用いて話す教授の講義を聴く形態です。ここでも、質問を積極的にする学生が多く見られます。時間割は、2コマ/週ですが1コマの授業が1時間20分です。（その他の私が履修している授業は1コマ50分の授業です。）

IB 404 は、「真核生物の遺伝」という授業であり、大変専門性の高い内容を含んだ授業です。BIOC406 よりもより深い知識を得られると思いこの科目を履修しました。最大履修可能人数は約 60 人ですが、実際に講義を受けているのは 9 人です。この授業は、2 コマ/週で、上の 2 つの科目と同様の授業形態です。配布されたシラバスによると、学期の中盤あたりで「研究所の訪問見学」等の内容も含まれています。現在までの授業では、遺伝子解析に関する実験方法や実験原理などの時代の遷移について学びました。この科目は BIOC406 に比べ、「遺伝子」に関する実践的な内容を学ぶことのできる授業だと考えます。

MCB 150 は、「分子生物学」の授業です。本学の「生物工学」、「細胞工学」と類似性があります。この授業は講義 3 時間/週とディスカッション 1 時間/週です。本学で履修した多くの「生物」に関する科目はもちろん、現在履修している上の 3 つの科目も講義形式であり、「暗記」を必要とする内容がほとんどです。したがって、「生物」に関するディスカッションでは、どのような内容について討論をするのが興味があり、この科目を履修しました。履修人数は約 650 人で、大きなホールで一人の教授による講義が行われます。一方のディスカッションのクラスは約 25 人で、大学院 2 年生の TA がそれをまとめます。

この授業形態は大変効率が良いと感じます。その理由も含め、気づいたことを次回の報告書に書かせていただきます。

先学期の反省点を生かし、予習や復習をし、講義では「聴く」ことに集中しています。しかし、まだ理解できないことが多く毎日奮闘しています。今学期の目標である、「専門的な知識を深める」を常に念頭に置き、勉学に励みたいと思います。

Winter Vacation



冬休みを利用して、「ニューヨーク」、「ワシントン」、そして「シカゴ」へ行って参りましたので、その様子を報告させていただきます。

クリスマスのニューヨークは、多くの観光客で大変賑わっていました。特に、「世界一美しい」といわれるロックフェラーセンターの巨大なクリスマスツリーを見物するために、多くの人が集まっていました。今回の旅行では、前回の旅行の時に行くことのできなかつた「自由の女神」、「メトロポリタン美術館」、「現代美術館」、「エンパイアステイトビルディング」へ行って参りました。また、友人と共に、「ソーホー」と呼ばれる高級ブランド店が立ち並ぶショッピング街へも行きました。ここでも、多くの人買い物をしている様子を見ることができ、ニューヨークの活気を味わうことができました。

ワシントンD.C.でも、有名な箇所を廻りました。特に、「スミソニアン博物館群」には大変興味を持ちました。「国立航空宇宙博物館」、「フーリア美術館」、「国立自然史博物館」、「国立アメリカ歴史博物館」等の博物館群が、国会議事堂とリンカーン記念堂を挟んだ広場の廻りに軒を連ねるように設立されています。私は、全てじっくり見て回りたかったのですが、時間の都合で「国立航空宇宙博物館」と「国立自然史博物館」へしか行くことができませんでした。しかし、迫力のある展示物を見ることができ大変満足することができました。また、ジョン・F・ケネディやチャンレジャー事故で亡くなられた宇宙飛行士が眠る「アーリントン墓地」へも行って参りました。ここは世界に2番目に大きいと言われる墓地で、その大きさに驚きました。

新年をシカゴで迎えました。シカゴの街は、ニューヨークまでとはいきませんが、大変賑わっていました。大晦日、私は友人達とシカゴの有名な「シアーズタワー」や「オークパーク」へ行きました。シアーズタワーから見た景色は、一面雪でした。実際に、ニューヨークやワシントンD.C.に比べ雪の量も多く、気温も大変低かったです。

約1週間の旅行は大変充実したもので、見聞を広めることができましたと思います。

春学期が始まりましたが、UIUCでの2回目の学期であるため、先学期よりも気持ちにゆとりを持って生活を送っています。今学期も授業以外の様々なイベントにも積極的に参加し、残り約3カ月の留学生生活をさらに充実したものにしたいと思います。

読んでいただきありがとうございました。これで1月の報告とさせていただきます。